

【Orlanth Allfather】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。オーランスの相。

■ 称号、職能

社会における役割、つまり職業や生活や法、正義など、社会すべての父としてのオーランスを現した相。

■ 概略

若き日の無謀な冒険を終え、自らが落ち着くべきアーナールダという存在を見つけたオーランスは、家建て食をもらし、部族を起て民を率い、法を立て仲間を守るために戦った。このオーランスを称え、ヒョルト人はすべての父オーランスと呼ぶ。

王や族長を初めとして、法官、戦近侍、農夫、職人など、オーランスのいうあらゆる自由なる社会身分に信者はおり、彼らは通常すべての父オーランスを、ありきたり衣服で籠の後に座った姿で描く。下位カルトの姿を表す場合、そのルーンと持ち物だけが異なっている。

組織

■ 大聖日

: 法の杖の日（火の季、移動の週、風の日）: すべての父オーランスの大聖日。法を立てた者たちを讃える日。翌日、部族の集会が開かれるが、氏族をまたぐ問題を取り扱うため、供物が捧げられ「法の集会」が開かれることもある。

■ 下位カルト

- ・“法の語り部” アンドリン
- ・ヴィングコット
- ・“大工” オースタン
- ・オーランスカルル
- ・オロルマーン
- ・“法の杖” ジャラニ
- ・“戦近侍” スタークヴァル
- ・“指導者” ダール
- ・“家長” デューレヴ
- ・“執事” ハースト
- ・ミンリスター
- ・“釣り人” ポヴェリ
- ・リグスダル

■ 好まれる神友

籠。トルク。指輪。槍。稀に風。

■ 信徒の呼び名

侍祭

嵐の僕

司祭

嵐の声

業績

参考文献

- ・『Thunder Rebels』 p.229-230